

学校経営推進費 評価報告書（1年目）

表記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	グローバル人材の育成
評価指標	<p>(1) アウトカム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル人材育成に係る校内アンケート項目「課題研究に対する生徒の肯定的評価（80%以上）」「社会貢献活動に取り組む・将来国際的に活躍したいと考える生徒数倍増(H27:235名) ・関西学院大学と連携し実施する「生徒実習アンケート」の【問題解決能力】【対課題基礎力】【対人基礎力】【對自己基礎力】の数値の経年変化から生徒の内面変化（グローバルな資質・能力及び感性の成熟度）を測る。 ・海外大学への留学やグローバルに「使える」英語力として、生徒の80%にGTEC for STUDENTSで450（1年次）、475（2年次）を獲得させる。また、英検2級の合格率を35%にする。 <p>(2) アウトプット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域の紹介文（日本語・英語）を「大阪文化発信マップ・夕陽丘」としてまとめ、国際交流テキストとして海外発信する。 ・夕陽丘高校主催による「成果発表会」「ワールドフォーラム」を開催する。
計画名	大阪・夕陽丘発 文化で世界を「デザイン」するリーダーの育成

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>1-① 問題解決型学習に取り組む：総合と関連を図る。</p> <p>⑤ 大学進学や留学に必要な英語運用能力を身に付ける。：GTECスコア H30：500、英検（2級）合格率：受験者の35%</p> <p>3-② 交流に必要な英語を含む語学力を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外の学校の訪問や留学生を積極的に受け入れ、双方にとって有効な国際交流を展開する。 <p>⑬ 姉妹校：クラークスタウン高校（アメリカ・ニューヨーク）、鳳新高級中学（台湾）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内にいながらにして国際交流を体験できるような様々な機会を提供する。 <p>⑭ 生徒国際交流委員会の定期的開催、国際交流新聞の定期的発行等、国際交流の活動を学校全体で計画的に行う。</p>
事業目標	<p>これまで高校生の「世界進出」を阻んできたのは、英語力を含めた異文化コミュニケーション力や海外の知識や経験の不足であるという認識から、夕陽丘高校が持つ地域の文化的財産を「地の利」として、文化を切り口とした国内外のフィールドワークを実施する。これらを通して、生徒が自信をもって世界に飛び出すための「能力・感性」を身に付けるカリキュラム開発を行い、世界の若者に伍して活躍できる人材の育成を図る。</p> <p>◆授業の構造改革</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「総合」を抜本的に改革する。フィールドワークやアクションリサーチをふんだんに取り入れ問題解決型学習を進める。 ②各教科にもアクティブ・ラーニング、問題解決型学習を取り入れ、「総合」との関連を図る。 ③英語以外の教科等で英語による授業の回数、語学講座の実施回数を増やす。 <p>◆英語教育のイノベーション</p> <ol style="list-style-type: none"> ①CAN-DOリストに基づく「夕陽丘メソッド」を開発する。 ②GTECスコア H30：500、英検（2級）合格率：受験者の35%等、数値目標を一層明確にして取り組む。 <p>◆国際交流、キャリア教育の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> ①生徒国際交流委員会の定期的開催、国際交流新聞の定期的発行、国際交流活動を学校全体で計画的に行う。 ②実際に海外の大学の授業を体験し、卒業後の進路として海外の大学を含めたキャリアデザインを行う。
整備した 設備・物品(数量)	<ul style="list-style-type: none"> ・iPad（30台） ・Wi-Fi環境設置工事（全HR教室24室）
取組みの 主担・実施者	<p>YGR【Yuhigaoka Global Revolutlion】</p> <p>グローバル市民の育成を期して行う学校全体の取組及び委員会</p> <p>委員：教頭、首席、英語科、国際交流委員会、総合的な学習の時間「夕陽学」担当、（18名）</p>
本年度の 取組内容	<ol style="list-style-type: none"> ①総合的な学習の時間「夕陽学」で、「学校を知る 地域を知る」をテーマに問題解決型学習に取り組んだ。（71期生） ・創立110周年を迎えた夕陽丘高校の歴史を知る。 ・近隣地域（四天王寺神社、コリアタウンなど）をフィールドワーク。 ・iPadを活用し、プレゼン実施。 ②GTEC対策として、ライティングセミナーを実施した。（71期生対象：実施日12月12日） ③日本文化発信を目的として、英語落語講座を実施した。（72期生対象：実施日12月12日） ④英語即興型ディベート講習受講した。 ⑤アクティブ・ラーニング型授業を取り入れることをめざした。
成果の検証方法 と評価指標	<ol style="list-style-type: none"> ①学校・地域の紹介文を「大阪文化発信マップ・夕陽丘」としてまとめ、国際交流テキストとして海外発信する。 ・生徒アンケート「学校の歴史や周辺地域について知ることができた」への肯定的回答80%以上。 ・成果発表会を実施する。 ②GTEC（6月、12月実施分）スコアの伸びを比較する、目標スコア（生徒80%の平均450）がクリアできているか検証する。 ・英検準2級、2級合格率を検証する。 ③海外修学旅行（1月実施）での学校交流、海外の学校受け入れの際に、日本文化を発信する。 ④英語の授業で即興型ディベートを取り入れる。 ⑤各教科でアクティブ・ラーニング型授業を実施する。
自己評価	<p>※（記号説明）大きく上回った（◎）、上回った（○）、達成できず（△）、実施できず（×）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①冊子を作成し、国際交流テキストとして活用予定。 ・「夕陽学」についてまとめ、本校ヴィオラホールにて成果発表会を開催した。 ・生徒アンケート「学校の歴史や周辺地域について知ることができた」への肯定的回答94%（○） ②71期生（1年生）28点アップ（全国平均17点） 70期生（2年生）29点アップ（全国平均17点）、スコア平均469（◎） ・英検準2級合格率83% 2級合格率41%（○） ③海外の生徒対象に日本の伝統楽器体験を実施、修学旅行での日本文化発信。（○） ④70期生（2年生）、69期生（3年生）の英語の授業でディベートを実施。（◎） ⑤国語科を始めとして、さまざまな教科において、ディベートやグループワークなど対話型授業を実施。（◎）
次年度に向けて	<ol style="list-style-type: none"> ①ベトナム フィールドワーク 商品企画を軸にして、ベトナムの現状を知り、現地の人のニーズを理解することで、グローバル市民として自分たちに何ができるのかを考える機会とする。 ②総合的な学習の時間「夕陽学」 71期生「アジアを知る」をテーマに探究的学習に取り組む。 ・商品企画（対象地：ベトナム） ・海外修学旅行（対象地：台湾） 72期生「学校を知る 地域を知る」をテーマに探究的学習に取り組む。 ③英語でのアウトプット力強化 外部機関と連携し、GTECスコアアップをめざす。（目標スコア475） 英検2級合格率40%をめざす。